Vol.27　色々なコード・ヴォイシングを弾いてみる　～その 4～

『10 分トレ』vol.27、始めていきましょう。

前回に引き続き、マイナー系の 2 種(Xm7、Xm7(♭5))のヴォイシングを弾いて行きます。

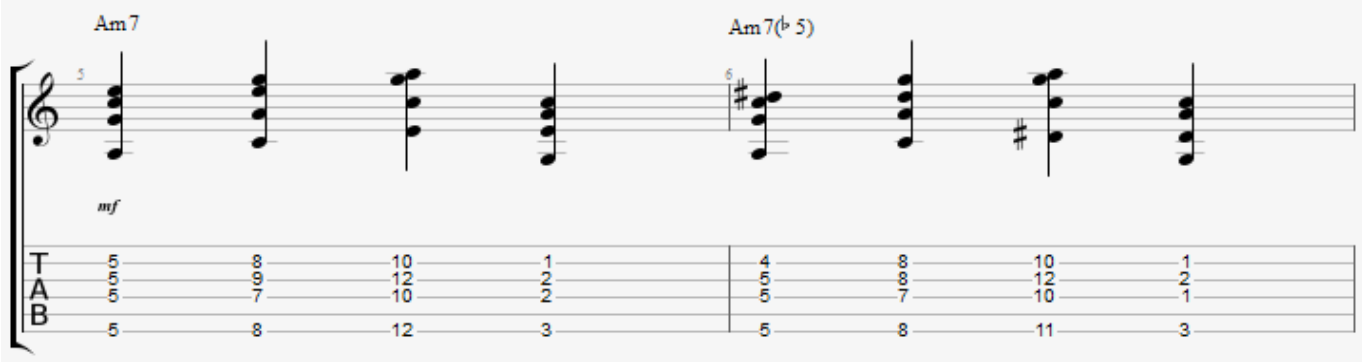
今回は、6 弦&4 弦ルートの展開形です。

すでに気が付いている人もいると思いますが、結局、各コードごとに変化している音は少しなので、押さえる形は近しいものが多いですね。

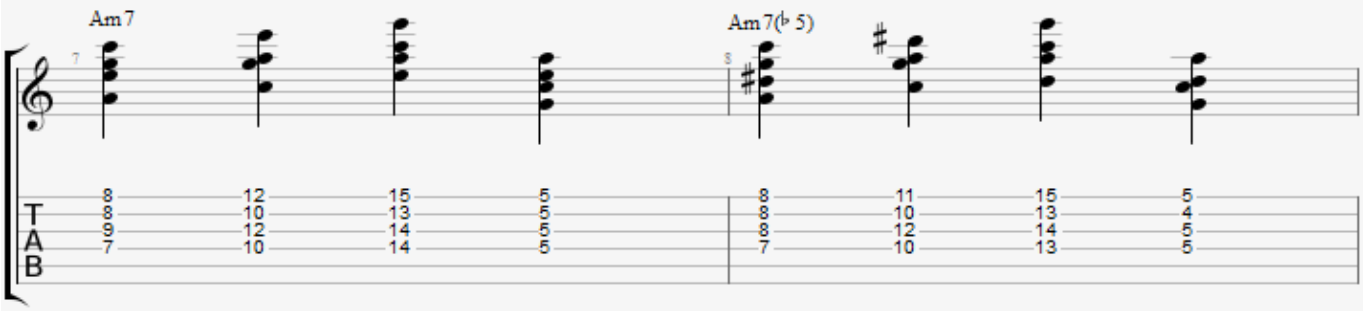
何でもそうですが、すでに身につけている知識と関連させながら、考えていきましょう。

ルートは前と同じく A 音で。譜例は以下になります。

譜例 1、6 弦ルート



譜例 2、4 弦ルート



と、言う事で、これまで 4 回にわたってドロップ・ヴォイシングを学んできましたが、ダイアトニックコードで出てくる 4 種について以上になります。

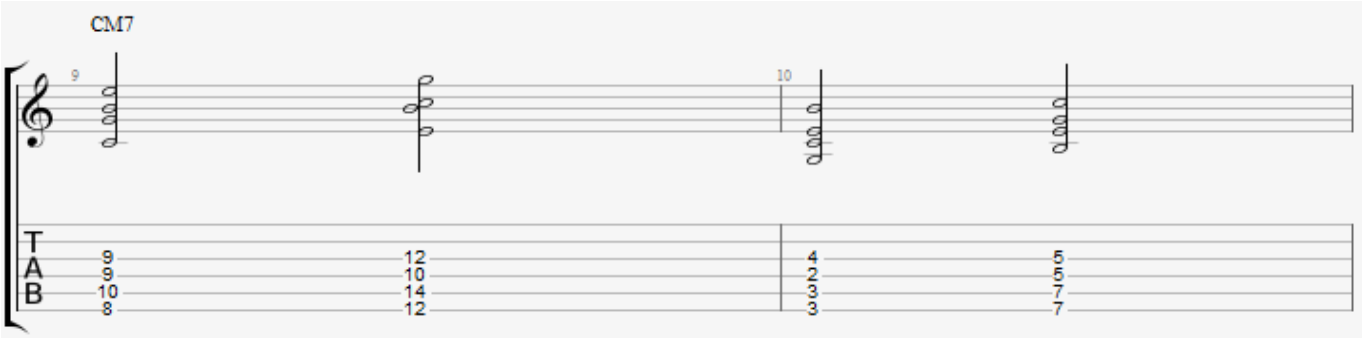
実は、近しいものとしてあと一つ、6、5、4、3 弦でのヴォイシングがあるのですが、6 弦と 5 弦を同時に鳴らすヴォイシングは、低いレンジに音が集まり、扱いが難しいのでここでは割愛します。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

普通の歌モノのバンド等でそれを使うと、ロー側にモワッとした塊が出来る様な感じになり、全体の邪魔になったりもしますので。

とは言え、言葉だけではどんな感じになるのかわからないので、CM7 を題材にさわりだけ見てみましょうか。

譜例 3



これはこれでアリだし、ギター単体で弾いている限りは面白いですが、アンサンブルの中では少し使い辛いですね。

やっている事自体はこれまでのテキストと同じなので、興味があれば研究してみましょう。

では、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved